

附属機関等の会議結果の公開 様式

|      |  |
|------|--|
| 会議名  | 令和6年度第2回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)  |
| 開催日時 | 令和6年(2024年)11月20日(水) 19時30分～21時00分   |
| 開催場所 | 愛知川図書館   |
| 出席者  | 平野宏文会長、安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、辰巳和美委員、辻野ミト子委員、野村仁美委員、細江雅美委員、水野美里委員  |
| 事務局  | 図書館長 三浦寛二、図書館参事 小川亜希子、図書館課長補佐 小豆畑靖、図書館司書 中川隆輔、水谷英紀   |
| 傍聴者  | 0人   |
| 議題   | (1) 今年度上半期 行事の報告、図書館利用状況について<br>(2) 子ども読書活動推進計画の進捗状況について<br>(3) その他  |
| 審議内容 | <p>(徳田教育長挨拶)</p> <p>(出席職員の紹介)</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは議案1、令和6年度上半期の行事報告と図書館の利用状況について事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>両館ともに前年度と比べて月別の貸出冊数が若干減少しています。行事は例年通り5月から両館で読書でガチャコンを開始しました。その他、両館ともに毎月様々な行事を行っております。例年になく大きな行事として、秦荘図書館で9月に写真家の小賀野実さんによる写真展「はたらくのりもの はいちーず」、ワークショップを開催し、多くの方に参加いただき大盛況でした。一方で、秦荘図書館の9月の個人貸出冊数を見ると4月から10月までで最も少なくなっており、児童書についても同様に最も少ない状況です。イベントの開催と同時に、図書館に立ち寄って本の貸し出しにつなげることを考えていかなければならないところです。両館ともに若手職員中心に様々な企画や展示を考えて実施してくれていますが、そのような地道な積み重ねで利用を伸ばしていくことかと思えます。</p> <p>(事務局)</p> <p>びんてまりの館について報告します。10月までの実施状況について、今年度は少し企画展の開催日数が少なく来館者数も減っています。一方で出張ワークショップや団体受入数は増加しています。11月11日にNHKでびん細工てまりを全国放送で紹介していただいたので、今年の12月からはじまる「びんてまり展」は来館者数が伸びるのではないかと期待している</p> |

ところ。他に、11月23日には愛知高等養護学校の秋の販売会にてワークショップを行う予定です。また、例年開催している愛知中学校卒業展を今年は2月中1か月の会期で行う予定です。3月には絵本作家さんの原画展を開催する予定です。ご覧いただければと思います。

(事務局)

貸出冊数の低下が課題で、協議会委員の皆さんにはアイデアがあれば、お聞かせいただきたいところです。

(委員)

中学校の学校帰りに図書館に寄って帰るのは禁止されていると聞いたのですが、本当でしょうか。

(事務局)

図書館としては寄り道を禁止していません。学校側で寄り道を禁止されているのかもしれませんが、学校に確認します。

(委員)

新規登録について、通勤・通学の方も利用登録ができるはずですが、それを知らない方も多いと感じます。企業に対してアピールしてはどうでしょうか。

(委員)

在勤の確認で図書館から企業に電話されるのが、煩わしいということを知っています。確認に他の方法はないのでしょうか。

(事務局)

電話での在勤確認は最後の手段であって、書類の提示などで在勤が確認できれば利用登録していただけます。どうしても確認ができない場合に、本人に了承を得たうえで電話しています。

企業へのPRについては、図書館の職員が企業訪問で説明しており、企業向けの案内を作成し配布しています。

(事務局)

企業訪問はどうしても限られた事業者しか訪問できません。企業へのPRについては今後の課題と感じています。

新規登録時の在勤確認方法には、例えば記載が本社住所のみで町内の事業所の記載がないなど、苦慮しているところではあります。確認はきっちりとしつつ、電話に依らない様々な選択肢をもたせたいところです。

(会長)

他にご意見等ございませんか。

(委員)

小学校に図書館から借りた本が置かれていて、子どもたちはそれで満足しているということはないのでしょうか。

(事務局)

小学校には各校に図書指導員を配置し、子どもたちの要望に応じて図書館から借りて学校で渡すこともあります。図書館に行くように伝えてもらうようにもしています。むしろ相乗効果でどちらも利用してくれていると思います。

朝8時から午後3時まで毎日、図書室に職員が常駐している事例は全国的にも少数で、今後も力を入れて取り組んでいこうと思っています。今後は中学校にも拡充していきたいところです。

(委員)

中学生の居場所がないように感じます。学校が終わると帰宅するしかない。遊ぶなら公園だと思いますが、集まっていると周囲の目が冷ややかで結局、居場所がなく、家で過ごすしかなくなるのではないのでしょうか。

(事務局)

図書館としては、騒いだり周囲の迷惑になる行為をしたりしなければ、もちろん来館し、利用していただきたいです。

(会長)

中学生は全体ではなく、個々に目を向けて付き合うことが大切だと思います。

(事務局)

学校の方針もあると思いますので、図書館としてはそれに配慮しながら対応するつもりです。強みとして、小学生の頃から関わっており、彼らにも図書館職員は「知っている人」という認識があります。そこで、何かできることがあるかもしれませんし、本の楽しさを伝えていきたいです。

(委員)

親もスマホやインターネットに頼りがちな部分があると思います。

(事務局)

インターネットの課題も多いです。教育長も子どもの間はできるだけ活字の読書をして欲しいという考えを持たれています。道具を使いこなす力を身に着けることももちろん大切で、そのバランスが教育行政の難しさだと思っています。

(委員)

小学生の読書冊数が増えているということをラジオで聞いたことがあります。親が読書している姿を子どもに見せることや、本に触れる機会を増やすことが大切だと思います。

(事務局)

親に図書館に来てもらうにはどうすればよいかアイデアをいただきたいところです。確かに親が読んでいる姿を見れば、子どもも読むようになると思います。いかに学校での読書を家庭につなげ、まちじゅう（地域）に広げていくかだと思っています。

(委員)

読書でガチャコンに親と楽しむ要素を入れてはどうでしょうか。

(事務局)

良いアイデアをありがとうございます。来年度は国スポ・障スポとコラボした形を考えていますので、親子でできるようなことも検討します。

(会長)

他に意見等ございませんか。

では、議案 2 子ども読書活動推進計画の進捗状況について事務局よりお願いします

(事務局)

「愛荘町まちじゅう読書の計画（第3次）」とは少し離れますが、社会教育委員会議さんで「まちじゅう読書」を推進する取り組みをされています。11月10日には愛荘かまど祭りで本の交換会やボランティア団体「月のくまさん」による読み聞かせ（おはなし会）をされました。社会教育委員の取り組みについて兼務されている委員より紹介していただきます。

(委員)

社会教育委員は3、4年前までは生涯学習課の諮問に対して意見するだけの活動をしていました。2年前から「行動する社会教育委員」を掲げ、「まちじゅう読書」推進をテーマに活動しています。昨年度はポスター募集を行い、最優秀作品をポスターとして町内各所に貼っています。今年度

は町民が集まるイベントの中で何かやりたい、ということで愛荘かまど祭りに出店しました。

ブースで「まちじゅう読書」を知ってもらうことと、本好きだけでなく興味のない方にも本に触れてもらえればと思っていました。当日は思った以上にたくさんの方に来ていただきました。印象的だったのは児童書が人気だったということです。また、祖父母が孫のためにもらっていられる姿もありました。ブースではアンケートもとっていました。まだ集計中ですが、「まちじゅう読書」を知らない方も多く、PRしていく必要を感じました。

かまど祭りへの出店はあくまで通過点で、目指しているのは町内のいろいろなところに本を置いてもらい、そこで気軽に手に取ってもらったり、持ち帰ってもらえたりできるような場を作ることです。図書館協議会ははじめ、様々な団体に働きかけて取り組みたいと思っています。また、「まちじゅう読書の宣言」は議決されたものですので議会・議員の皆さんにも関わってもらいたいですし、学校の先生にも働きかけて広く浸透させていきたいと思っています。

(委員)

他の自治体でされている移動図書館車のようにトラックに交換用の本を載せて、町内を巡回するような方法も楽しいのではないかと思います。

(委員)

社会教育委員、皆さん多忙な中、限られた時間のなかで様々に取り組んでいる状況ですので、ほかの団体等も巻き込みながら広がっていけば、長く続けられるのではないかと思います。

(事務局)

図書館協議会としても協議事項だけでなく、社会教育委員の皆さんに足並みを合わせていくことも考えていかなければと思います。まちじゅう読書の本棚の活動が広まるとよいと思うので協力していただければと思います。

(委員)

以前、まちじゅうライブラリー事業をされていたと思いますが、根付かなかった理由は何だったのでしょうか。同じような取り組みをされるのに、それを踏まえないといけないのではないのでしょうか。

(事務局)

「まちじゅうライブラリー」は事業を始めて暫くしてコロナ流行により立ち消えになってしまった背景がありますが、申請や手続きが煩瑣で改善

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>する必要はあったと思います。要領を簡易なものにするように検討しています。</p> <p>(委員)</p> <p>10月に他県での取り組みを視察に行きました。そのときに伺った話では、ゆるーく活動することが継続するコツだということをお話しされました。できる限り長続きする活動にしたいです。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのような取り組みが広がっていくとよいなと思います。図書館協議会委員の皆さんもできる範囲で構いませんので社会教育委員会議の活動への協力等していただければと思います。</p> <p>(会長)</p> <p>まちじゅう読書の宣言が広がり継続していけばと思います。県内でも町全体で取り組んで賑わいを生んだ事例もあります。</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町には自ら積極的に動いてくださる方がたくさんいらっしゃいます。なかなかないことで、愛荘町の魅力だと思います。図書館にどんどん要望や相談を寄せていただけるとありがたいです。</p> <p>(会長)</p> <p>図書館協議会としても協力できるところは協力していきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>他に事務局からの連絡事項はありますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回開催日ですが、3月5日水曜日でいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、次回は秦荘図書館で19時30分からの開催とします。</p> <p>(副会長閉会挨拶)</p> <p>(会長)</p> <p>本日はありがとうございました。</p> |
| 問い合わせ先 | 愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114   |